

美幌版総合戦略に係る重要業績評価指標（K P I）の設定について

■留意事項

- ①目標年度は平成 31 年度です。
- ②重要業績評価指標（＝K P I）とは、目標の達成度合いを検証できる客観的な指標のことで、一つの施策に一つ以上の重要業績評価指標（＝K P I）を設定する必要があります。
- ③K P I は原則として、施策のアウトカム（＝施策を行った結果として住民にもたらされる便益）に関する指標を設定する必要があります。
- ④アウトカムの K P I が設定できない場合はアウトプット（＝行政活動そのものの結果）に関する指標でも差し支えありません。
- ⑤K P I は、施策ごとに設定することになっていますが、施策にはいくつかの事業がぶら下がる作りとなっています。そのため、いくつかの事業効果の結果によってもたらされると想定される指標を設定しています。

1 地域での基幹産業を守り育て、強化するとともに新たな産業と雇用の場をつくる

【具体的な施策と重要業績評価指標】

分類	施策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標（K P I）
基幹産業の活性化 ＜農業＞	農業担い手育成・強化	当町の経済を担う基幹産業強化のため、農業においては、持続的で安定した経営のための担い手確保・育成、技術支援、配偶者対策など包括的な支援を実施します。 （主な事業） ・新規就農者確保・育成等総合支援事業 ・地域しごと支援事業	新規就農者数 ：15 人

＜指標：新規就業者数＞

美幌みらい農業センターにおいて新規就農者確保・育成について総合的な事業を行っていることと、「地域しごと支援事業」は新規就農者（新規参入者）・新規農業従事者（農家子弟の就農）への補助であることから、指標を「新規就農者数」に設定しました。

＜数値：15 人＞

農家子弟の新規農業従事者は毎年一定数いるため、当町の農政グループの内部的な数値として、年 3 人を基準としていたため、それを準用しました。

年平均 3 名 × 5 年間 = 15 名

（実績）

- ・新規就農者（新規参入者） 平成 15 年～21 年 計 15 名 （22 年～26 年なし）
- ・新規農業従事者 平成 25 年度、平成 26 年度 各年 3 名

分類	施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標（K P I）
基幹産業の活性化 ＜林業＞	森林資源の高付加価値化による経営安定	当町の経済を担う基幹産業強化のため、林業においては、森林資源の循環利用を図りつつ、認証材の普及・啓発、新たな技術による資源活用と生産・流通体制の構築を目指します。 (主な事業) ・森林認証材活用促進事業 ・美幌町産材活用促進事業	認証材の出荷量 ：6,000 立方

＜指標：認証材の出荷量＞

当町の林業は、国際認証である F S C® の取得を続けており、今後もその認証材の普及に力を入れていく方針である。また、町の最上位計画である総合計画における林業の指標が、「認証材の出荷量」となっていることから、その考えに沿うものとして設定しました。

＜数値：6,000 立方＞

指標と同様、総合計画の林業における数値目標に準じました。

分類	施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標（K P I）
基幹産業の活性化 ＜林業＞	木育の推進による基幹産業の育成	林業への理解や親しみを促すため、木と気軽にふれあう機会を提供します。 (主な事業) ・はじめての木づかい事業 ・林業館改修事業	木育ひろば利用者数 ：25,000 人

＜指標：木育ひろば利用者数＞

施策の目的として、小さい頃から木と親しみ、木を身近に感じてもらうことで、将来的な普及と林業への理解につなげ、産業を活性化することにあります。

そして、美幌駅に隣接する「林業館」に、今年 10 月に木育ひろばがオープンすること、また満 1 歳を迎える幼児に木のおもちゃを贈答する事業を実施することから、木育の効果が客観的に分かる指標として、「木育ひろば利用者数」を設定しました。

＜数値：25,000 人＞

子どもの対象年齢を概ね 1 歳～7 歳として想定し、その人数から設定しました。

平成 19 年～25 年生まれの子どもの数（1 歳～7 歳）→ 1,155 人≒1,000 人

そのうち半分の子が来場 → 500 人

保護者が 1 人付き添い → 500 人

年間 5 回来館を想定

（（子 500 人 + 親 500 人） × 5 回 ） × 5 年間 = 25,000 人

分類	施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標（K P I）
基幹産業の活性化 ＜観光業＞	特産品開発等 支援による地 域力強化	今ある資源の高付加価値化や新たな 魅力の発掘・資源化をすることにより、 交流人口と雇用の増加を目指します。 （主な事業） ・特産品等研究開発推進事業 ・パッケージデザイン支援事業	特産品開発等の 取組案件数 ： 3 件

＜指標：特産品開発等の取組案件数＞

施策の目的として、主に特産品を支援する内容で、観光客等への売り込みを強化し、経済の活性化を図るものです。

「パッケージデザイン支援事業」では、既存若しくは新規の特産品について、目に付くような、特色のあるパッケージにすることで、売上増加を図るものとなっており、「特産品等研究開発推進事業」は、特産品を開発する団体に支援する内容となっています。

そして、客観的に判断しやすい指標として、特産品の開発件数を設定しました。

＜数値：3 件＞

仮置き数値のため、担当課である商工観光グループと調整します。

分類	施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標（K P I）
基幹産業の活性化 ＜観光業＞	地域資源を活 かした滞留型 観光の推進	交通の要衝であり名高い観光名所を 有する当町の特色を活かし、魅力ある観 光地づくりの推進・P Rを実施すること により、交流人口の増加を目指します。 （主な事業） ・観光振興事業 ・空港交通利便性向上事業	観光入込客数： 797,500 人

＜指標：観光客入込客数＞

町の取組方針として、滞在型観光を推進するものであり、観光における全般的な振興と空港への利便性を向上する取組を行うことで、観光客の入り込み増加を図るものとして、設定した。また、総合計画における観光の指標に準じています。

＜数値：797,500 人＞

指標と同様、総合計画の観光における数値目標に準じました。

分類	施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標（K P I）
商工業の振興	きめ細かな創業支援	意欲ある人材が当町で活躍できるような環境整備に努めます。 （主な事業） ・元気な起業家応援事業 ・新規起業家融資制度	起業家件数 ：15 件

<指標：起業・創業件数>

新規の起業・創業について、その準備資金や改装費を支援する内容となっているため、その起業・創業件数を設定しました。

<数値：15 件>

「元気～」は、地方創生の先行型事業として、平成 27 年度当初から実施している事業で、現在（8 月末）までに 6 件の起業・創業見込みがあり、ニーズが高いと思われます。初年度は新規だったため注目度高く多くなりましたが、今後は、町内の空き店舗・空き家との調整もありますが、年平均 2～3 件の起業・創業に取り組むとして、31 年度までに 15 件として設定しました。

分類	施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標（K P I）
商工業の振興	商店街活性化支援	消費喚起対策を実施することにより、商店街を活性化させ、町内商工業者の所得向上と雇用の場の創出を図ります。 （主な事業） ・がんばる商店街応援事業（再掲） ・美幌町商店街活性化事業（再掲） ・消費喚起プレミアム商品券発行事業（再掲） ・子育て世帯・若年者支援対策事業（再掲） ・多子世帯支援対策事業（再掲）	商店街の往来者数：平成 26 年度比 5% 増加（再掲）

本 K P I は基本戦略 4 のものと同じですので、そちらで記載します。

2 「びほろ」らしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す

【具体的な施策と重要業績評価指標】

施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標 (K P I)
移住の推進	東京直通便のある空港が近距離にあることや国道・道道などの道路網が整備されているなど、当町は「便利な田舎」であることの地理的優位性を活かし、首都圏などに向けた移住を促進します。 (主な事業) ・移住促進事業 ・生活体験推進事業 ・空き家バンク制度 ・地域おこし協力隊事業 (再掲)	移住体験者数： 30 人

<指標：移住体験者数>

今年度、町所有の教職員住宅を移住体験者住宅に改築しまして、既に運用が開始されているため、移住体験者数として設定しました。

<数値：30 人>

移住体験者用住宅が、現在 1 軒しかないこと、また移住の意向を持っている人向けということで、数週間から数ヶ月単位の利用期間を設定していることから、季候の良い無雪期に、ご夫婦 2 人が年 3 組来ると想定し、30 人とししました。

$$2 \text{ 人} \times 3 \text{ 組} = \text{年間 } 6 \text{ 人} \times 5 \text{ 年間} = 30 \text{ 人}$$

施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標 (K P I)
政府関係機関の誘致	基幹産業である農林業と自衛隊駐屯地の一層の充実を図り、東京一極集中問題に対応するため、政府関係機関の誘致に努めます。 (主な事業) ・政府関係機関の誘致	政府関係機関の誘致件数：1 件

<指標：政府関係機関の誘致件数>

国の方から移転にかかる照会があり、当町は現在申請していること、そしてそれが総合戦略に掲載されていることが必要なため、施策として単独で設定しています。また、当町は自衛隊の増強などの陳情を続けていることも考慮しています。

<数値：1 件>

一つでもくればかなりの効果が見込まれるため、1 件としています。

3 このまちで出会い結婚し、子どもを生み育てたいという希望をかなえる

【具体的な施策と重要業績評価指標】

施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標 (K P I)
婚活総合支援	結婚を望む男女の希望をかなえるため、出会いの場の設定や出会いから結婚までのサポート体制を整えます。 (主な事業) ・婚活総合支援プロジェクト ・新規就農者確保・育成等支援事業（再掲） ・美幌町商店街活性化事業（再掲）	事業を通じた成婚数：2組

<指標：事業を通じた成婚数>

平成 27 年度にオホーツクで婚活ネットワークが形成されたこと、またみらい農業センターで結婚相談員を抱えていることから、成婚に結びつくものがあると考え、評価しやすい指標として成婚数としました。

<数値：2 組>

事業実施～交際～婚姻の期間を考えると、28 年度から 31 年度の 4 年間で、2 組程度と考えました。

施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標 (K P I)
妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援	それぞれの家庭が希望している子どもの数どおりに子どもを生み育てることができる環境整備に努めます。 (主な事業) ・妊婦一般健康診査費用助成事業 ・エンゼルサポート事業 ・子育て支援対策事業 ・地域子育て支援センター事業 ・一時預かり事業	子育ての環境や支援に対する満足度：普通～高いの割合 70% (就学前)
子ども・子育て支援の充実	子育てをしながら自分らしい生活を楽しめるよう、地域で子育てを支える仕組みづくりを推進します。 (主な事業) ・放課後児童健全育成事業 ・子育て世帯・若年者支援対策事業 ・多子世帯支援対策事業 ・子育て世帯禁煙サポート補助事業	子育ての環境や支援に対する満足度：普通～高いの割合 67% (小学生)

<指標：子育ての環境や支援に対する満足度>

平成 27 年度策定の「美幌町子ども・子育て支援事業計画」を策定する際にとったアンケートを参考にしました。

「美幌町子ども・子育て支援事業計画」の計画期間が平成 27～31 年度であり、ちょうど総合戦略の計画期間と同じであるので、次期「子ども・子育て支援事業計画」を策定する際に、同様のアンケート調査を実施すると思ったため、客観的指標となり得ると思い、設定しました。

<数値：70% (就学前)、67% (小学生)>

担当課である民生部と調整し、平成 26 年度の満足度からそれぞれ 5 ポイント上昇させることを目的として設定しました。

なお、「妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援」との違いですが、「妊娠～」の方は、主に妊娠から出産、乳幼児までの子育てに関する事業を想定しており、「子ども・子育て支援の充実」では、もう少し上の年齢から未成年と呼ばれる年齢までの子どもを考えた事業を想定しています。

4 住み続けたいと思える生活環境を整える

【具体的な施策と重要業績評価指標】

施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標 (K P I)
地方における経済・生活圏の形成	住民の定住思考と住みよさを創出するため、町内の各団体と連携し商店街の活性化を促すとともに、空き店舗等の解消を促進します。 (主な事業) ・がんばる商店街応援事業 ・元気な起業家応援事業（再掲） ・美幌町商店街活性化事業 ・空き家バンク制度（再掲） ・消費喚起プレミアム商品券発行事業 ・住宅リフォーム促進事業	商店街の往来者数：平成 26 年度比 5%増加

<指標：商店街の往来者数>

既に 27 年度当初において、「がんばる商店街応援事業（店舗リフォーム促進事業）」を実施しており、そこで設定された K P I を参考にしました。

<数値：平成 26 年度比 5 %増加>

担当する商工観光グループと調整し、平成 26 年度と比較すれば、今後 5 年間の施策効果が見えやすいことから、平成 26 年度比 5%増加としました。

施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標 (K P I)
地域公共交通の充実	快適な生活を送れるよう、地域住民の足である公共交通の確保・維持を推進するとともに、観光・ビジネスで来町する人の利便性向上に努め、住みよさの維持・創出を図ります。 (主な事業) ・ワコイバス、乗合タクシー等利用促進事業 ・空港交通便利性向上事業（再掲）	バス利用者数：37,000 人

<指標：バス利用者数>

上位計画である美幌町総合計画において、「公共交通の充実」という施策があり、その指標を準用しました。

<数値：37,000 人>

指標と同様に、美幌町総合計画の数値を参考にしました。

施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標 (K P I)
地域コミュニティの 活性化	若者や子育て世代にとって、住み続けたいと思えるようなまちとなるよう、住民参画のまちづくり活動を推進します。 (主な事業) ・美幌町まちづくり活動奨励事業 ・美幌町まちづくり参画プロジェクト ・地域おこし協力隊事業	住民主体による地域活動件数：4 件

<指標：住民主体による地域活動件数>

施策目的が「住民参画のまちづくり」ということで、その活動件数を指標としました。また、行政主導とならないよう、「住民主体」としてそのハードルを上げた内容としました。

<数値：4 件>

「美幌町まちづくり活動奨励事業」という既存事業があり、その活動実績が 24 年度と 26 年度にそれぞれ 1 件ずつとなっている。その実績を参考にして、28 年度以降、1 年に 1 件として設定しました。

施 策	施策内容と主な事業	重要業績評価指標 (K P I)
地域力を活かした教育環境の整備	未来を担う子どもたちに、学力的・社会的・職業的な向上・自律に向けて、産官学と連携し、必要な能力や資質が育つよう、魅力的な教育環境を整備します。 (主な事業) ・小学校 I C T 機器整備事業 ・少人数学級推進事業 ・博物館との連携事業 ・学生ボランティア学習サポート事業 ・美幌町インターンシッププロジェクト	町内小中学校の学校評価における児童アンケート結果：全ての項目において平成 26 年度結果より上昇

<指標：町内小中学校の学校評価における児童アンケート結果>

客観的に見ることの出来る指標として、町内 5 つの小中学校の児童・保護者・職員に対してアンケート調査を毎年実施していますので、それを参考にしました。そして教育を受けるのは「児童」であるので、指標も「児童」のアンケート結果としました。

<数値：全ての項目において平成 26 年度結果より上昇>

かなり高く仮置きしてしまったので、担当課である教育委員会に確認中です。